



背景

- ◆ 鏡川は坂本龍馬が泳いだことでも知られる高知市の中心を流れる清流
- ◆ 源流から河口までが一つの市域に含まれる全国的にも珍しい河川
- ◆ 上流域は市街地からほど近く、雄大な景観と四季折々の美しい景色を楽しむことができる
- ◆ 下流域は散策や水遊びの場として幅広く利用されるなど、市民に広く親しまれている

現状の課題

- ◆ 少子高齢化、様々な分野での担い手不足により、流域の自然への適切な関わりが減少
- ▶ **流域の美しい景観や自然環境の喪失 自然災害等のリスク増大**

事業の目的

- ◆ 鏡川流域の自然と人、人と人をつなぐ「**鏡川流域関係人口**」を創出・拡大
- ◆ 鏡川流域の自然資本の価値と持続性を高める
- 鏡川を軸にした地域循環共生圏の実現**

これまでの取組

- ◆ 鏡川での環境学習会の開催
- ◆ HP・SNSでの情報発信
- ◆ 流域の自然環境・景観調査
- ◆ 河川保護団体への支援



① 流域内関係人口講座の開催

鏡川流域の関わりしろを見つけ、自分なりの関わり方を実行できる人材を育成することで、上流と下流のつながりを生み、流域内資源の相互補完・相互作用を促進する



② 流域外関係人口講座の開催

都市圏などの流域外から流域の自然に多様に関わることのできる人材を育成し、流域外からの新たな視点での関わりを創出する



③ 鏡川流域関係人口プロモーション

WEBを活用したプロモーションにより、流域内外に鏡川流域パートナーシップを広める



④ 電子地域ポイントシステムの活用

電子地域ポイントシステム「まちのコイン（スマホアプリ）」の高知市版「ぼっちり」を通じて、流域への関わりしろを見える化し、誰もが気軽に流域に関わることのできるきっかけを作る



↑まちのコイン「ぼっちり」の詳細はこちら

←「ぼっちり」の体験チケット事例

事業内容

- ◆ 講座開催による関係人口創出と関わりとつながりを可視化するネットワークインフラである電子地域ポイントシステムの活用を一体的に実施することで、流域の自然と人、人と人の多様な関わりとつながりを促進する



得られる
成果等

寄附を
する
メリット
等

- ◆ 鏡川流域の自然と人、人と人の多様な関わりとつながりの増加
- ◆ 流域の相互連携・相互作用の促進



↑ R3年度講座及び「ぼっち」によって生まれた流域との関わり

鏡川を軸にした高知市版地域循環共生圏（ローカルSDGs）の実現



企業さまに求めるもの・連携イメージ

- ◆ 企業版ふるさと納税による支援
- ◆ ESG、SDGs 人材育成研修の受入れ
- ◆ 関係人口講座への参画（講師等）



企業さまのメリット

- ◆ SDGsへの貢献
- ◆ 電子地域ポイントシステムによるSDGs活動の見える化
- ◆ 企業のESG評価向上、資本家・顧客へのESG活動PR
- ◆ 高知市、鏡川流域関係人口とのパートナーシップ構築
- ◆ 鏡川流域関係人口による新プロジェクトへの参画機会創出

ESG活動を促進

環境 (Environment)

- 生物多様性の確保
- 水資源の保全
- 自然災害対策

社会 (Social)

- 人材育成
- 地域課題解決
- 地域の魅力向上